

日本語教育コースや西川研究室に進学を希望するみなさんへ

お薦めの書籍・論文の例

あくまでこの分野の一般的な文献です。各自の研究のために必要な文献は、もちろんこの他に山ほどあると思います。ここにリストされた文献を手始めに、自分でも色々と探してみてください。

★第二言語習得

書籍

大関浩美 (2010) 『日本語を教えるための第二言語習得論入門』 くろしお出版

小柳かおる (2020) 『第二言語習得について日本語教師が知っておくべきこと』 くろしお出版

小柳かおる (2021) 『改訂版・日本語教師のための新しい言語習得概論』 スリーエーネットワーク

小柳かおる・峯布由紀 (2016) 『認知的アプローチから見た第二言語習得—日本語の文法習得と教室指導の効果—』
くろしお出版

小柳かおる・向山陽子 (2018) 『第二言語習得の普遍性と個別性—学習メカニズム・個人差から教授法へ—』
くろしお出版

迫田久美子 (2020) 『改訂版 日本語教育に生かす第二言語習得研究』 アルク

佐々木嘉則 (2010) 『今さら訊けない…第二言語習得再入門』 凡人社

福田倫子ほか編 (2022) 『第二言語学習の心理—個人差研究からのアプローチ—』 くろしお出版

Lightbown, P. M. & Spada, N. (2022). *How languages are learned, 5th edition*. Oxford: Oxford University Press. (白井恭弘・岡田雅子訳 (2014) 『言語はどのように学ばれるか—外国語学習・教育に生かす第二言語習得論』 岩波書店) ※日本語訳があるのは第4版ですが、英語は Fifth edition が 2022 年に出版されています。

論文

西川朋美 (2018) 「子どもの第二言語習得研究と日本語教育—JSL の子どもを対象とした研究と実践への道しるべ—」
『子どもの日本語教育研究』 第1号, 38-60.

長谷川 (西川) 朋美 (2008) 「第二言語習得における臨界期仮説・年齢要因—日本語を対象とした研究に向けて—」 『第二言語習得・教育の研究最前線—2008年版—: 言語文化と日本語教育』 2008年11月増刊特集号, 107-137.

★年少者日本語教育・継承語教育

書籍

西川朋美編 (2022) 『外国につながる子どもたちへの日本語教育』 くろしお出版

近藤ブラウン妃美・坂本光代・西川朋美 (編) (2019) 『親と子をつなぐ継承語教育—日本・外国にルーツを持つ子ども—
—Heritage language education connecting generations: From the Japanese perspective—』 くろしお出版

西川朋美・青木由香 (2018) 『日本で生まれ育つ外国人の子どもの日本語力の盲点—簡単な和語動詞での隠れたつまづき—』 ひつじ書房

中島和子 (2016) 『完全改訂版 バイリンガル教育の方法』 アルク

バトラー後藤裕子 (2011) 『学習言語とは何か—教科学習に必要な言語能力』 三省堂

★研究方法・論文の書き方

浦野研・亙理陽一・田中武夫・藤田卓郎・高木亜希子・酒井英樹 (2016) 『はじめての英語教育研究—押さえておきたいコツとポイント—』 研究社

戸田山和久 (2022) 『最新版 論文の教室—レポートから卒論まで』 NHK 出版

※その他、教員個人 HP の業績一覧も確認ください。また、日本語教育コース全体の研究分野をよく知るためには、他の教員の HP もチェックすることをお勧めします。

(2024年4月作成)